

佐賀県の地震活動概況（2026 年 9 月）

令和 8 年 10 月 9 日
佐賀地方気象台

【9 月の地震活動概況】

9 月に佐賀県内で震度 1 以上を観測した地震は 3 回(下図領域外を含む)でした(8 月は 19 回)。※地震回数は速報値であり、今後の精査により変更になることがあります。

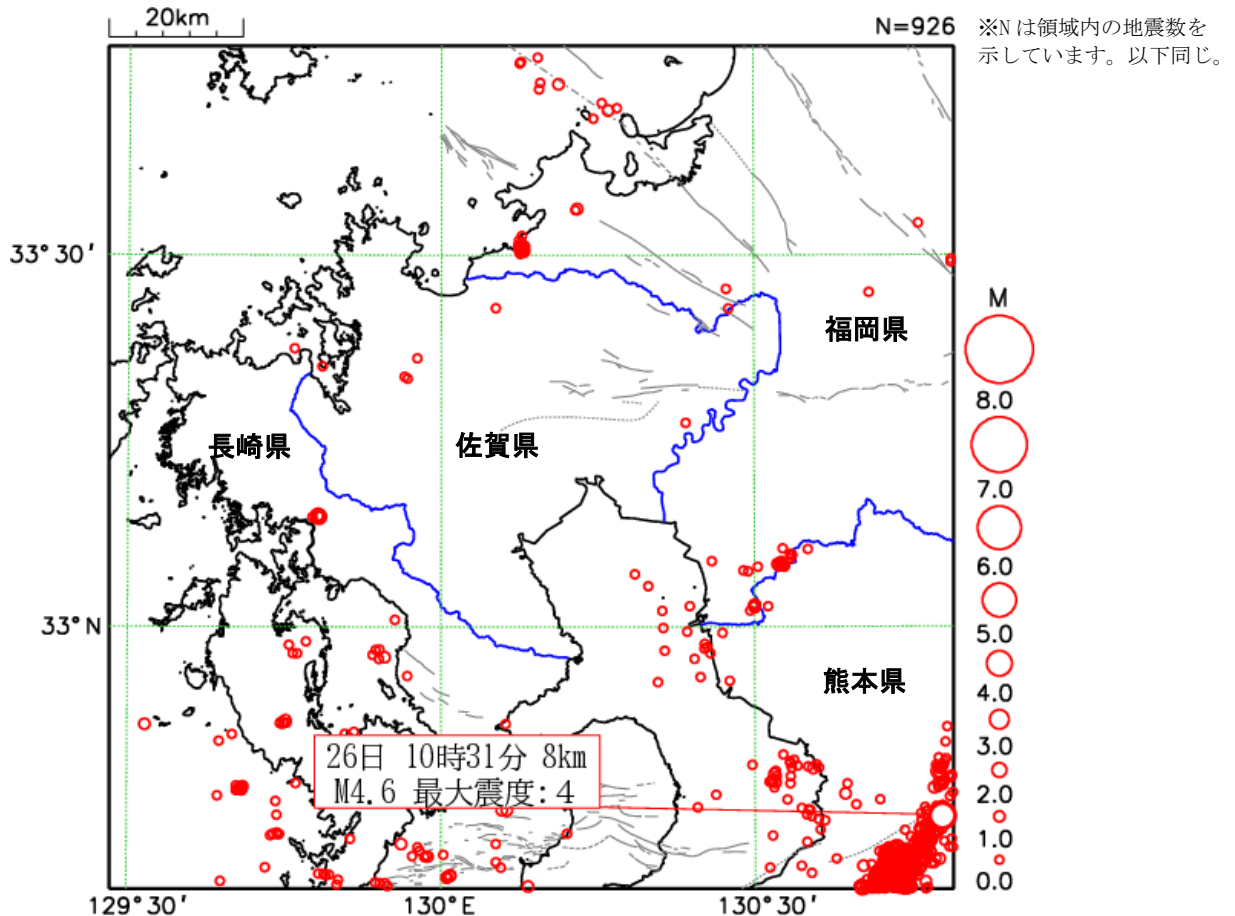


図 1 震央分布図 (2026 年 9 月 1 日～30 日、深さ 30km 以浅、 $M \geq 0.0$)
灰色の線は地震調査研究推進本部の長期評価による活断層を示しています。

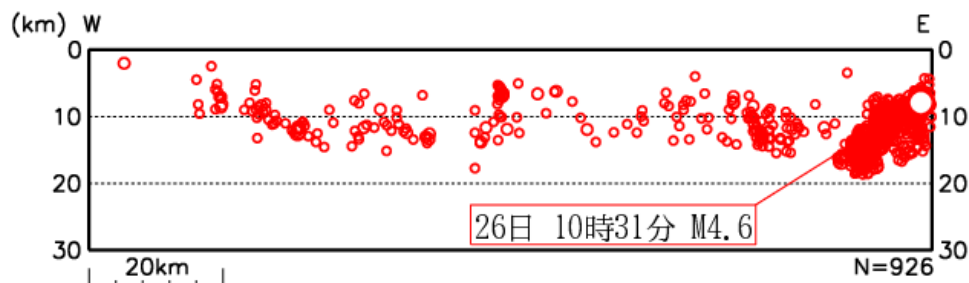


図 2 断面図 (2026 年 9 月 1 日～30 日、深さ 30km 以浅)
震央分布図を南の方から見た断面図です。

本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。また、2016 年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点 (河原、熊野座)、2022 年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点 (よしが浦温泉、飯田小学校)、2025 年トカラ列島近海における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点 (平島、小宝島)、EarthScope Consortium の観測点 (台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東) のデータを用いて作成しています。

天草灘の地震（1 頁震央分布図領域外）

19 日 21 時 07 分に天草灘で M4.5 の地震（深さ 15km）が発生し、熊本県天草市、鹿児島県長島町で震度 3 を観測したほか、九州地方で震度 2～1 を観測しました。

佐賀県では、佐賀市、唐津市、武雄市などで震度 1 を観測しました（図 3、表 1）。

今回の地震の震央付近（図 4 領域 a）で発生した地震により佐賀県で震度 1 以上を観測したのは、地方公共団体（佐賀県）の震度データの活用を開始した 2001 年 3 月 22 日以降では、今回が初めてです（図 4、5）。

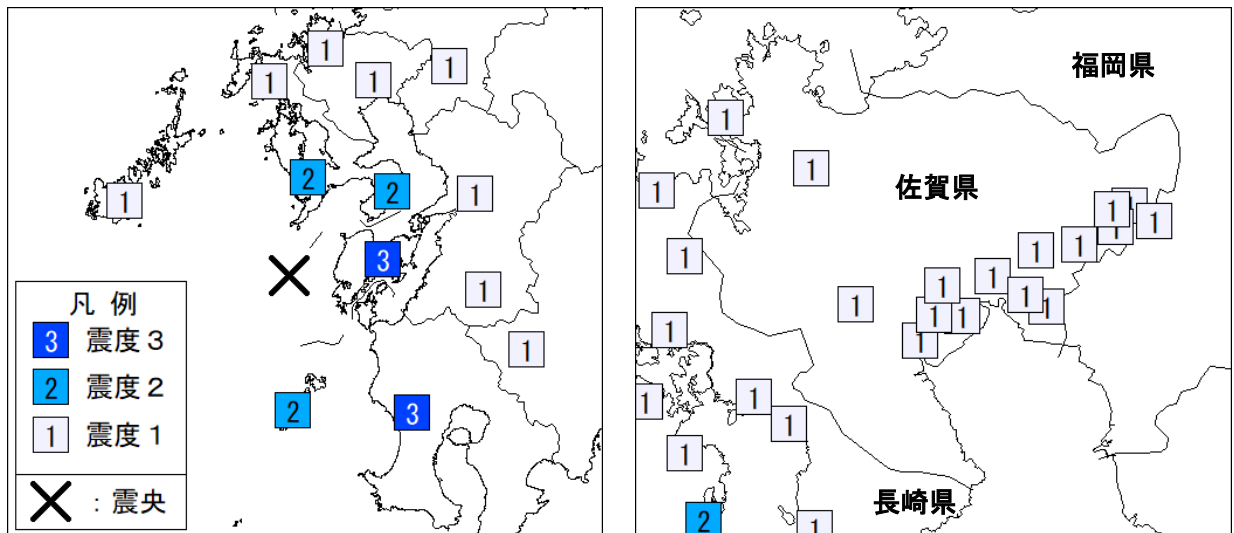


図 3 震度分布図（左図は地域別、右図は観測点別）

19 日 21 時 07 分 M4.5

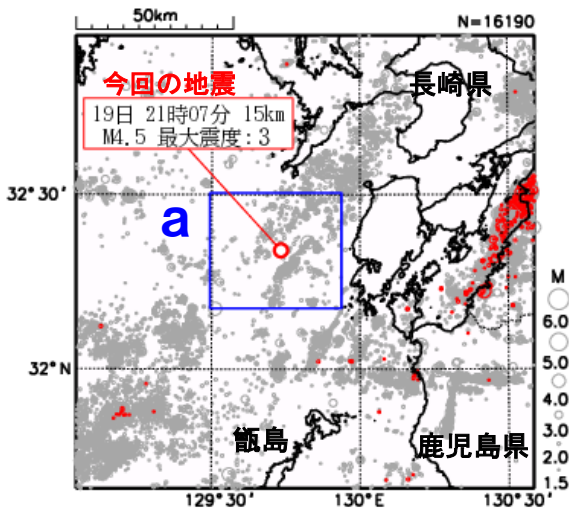


図 4 震央分布図

（1997 年 10 月 1 日～2026 年 9 月 30 日、

深さ 0～20km $M \geq 1.5$ ）

※2026 年 9 月の地震を赤色で表示

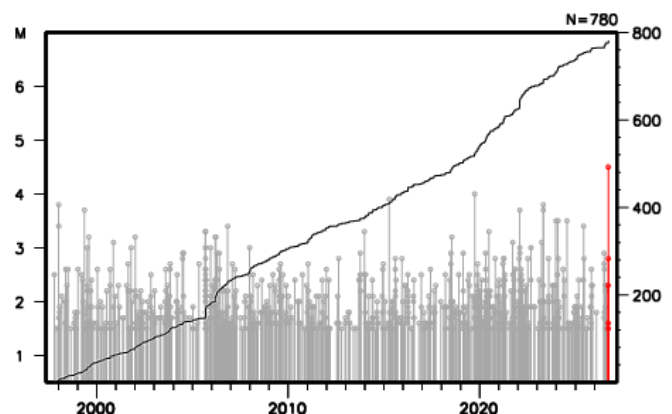


図 5 図 4 の領域 a 内の地震活動経過図
及び回数積算図

日向灘の地震（1 頁震央分布図領域外）

21 日 22 時 38 分に日向灘で M4.8 の地震（深さ 36km）が発生し、大分県の臼杵市、津久見市、宮崎県の延岡市、美郷町などで震度 3 を観測したほか、九州地方、中国地方、四国地方で震度 2～1 を観測しました。

佐賀県では、上峰町で震度 2 を観測したほか、佐賀市、小城市、神埼市、白石町、みやき町で震度 1 を観測しました（図 6、表 1）。

今回の地震の震源付近（図 8 領域 c）では、2022 年 1 月 22 日に M6.6 の地震（深さ 45km、最大震度 5 強）が発生し、佐賀県では、佐賀市、神埼市などで震度 4 を観測したほか、県内全域で震度 3～1 を観測しました（図 7～9）。

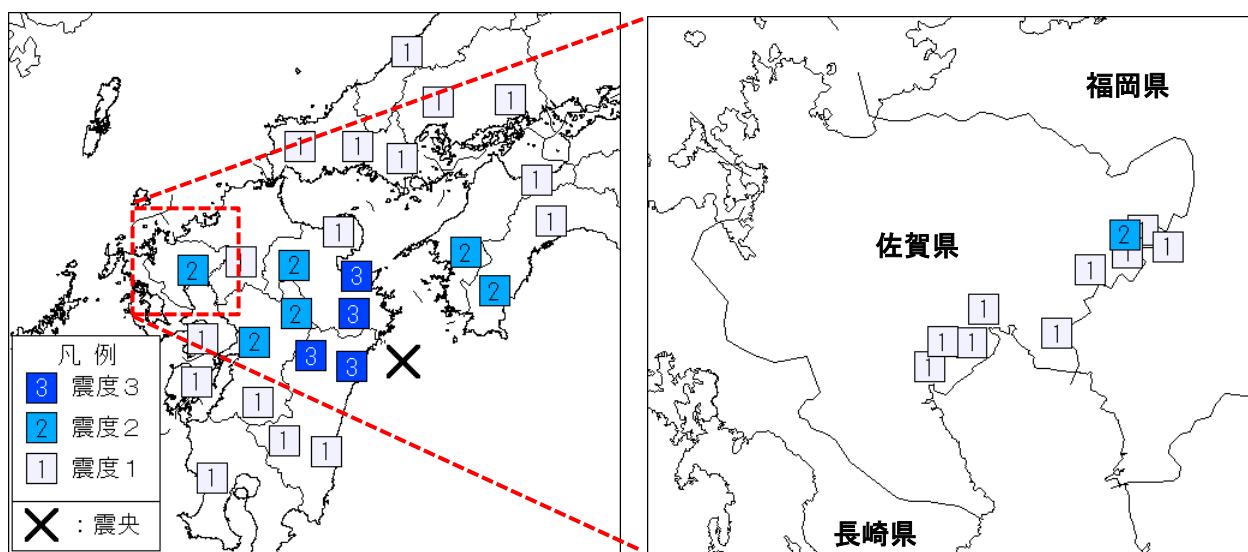


図 6 震度分布図（左図は地域別、右図は観測点別）

21 日 22 時 38 分 M4.8

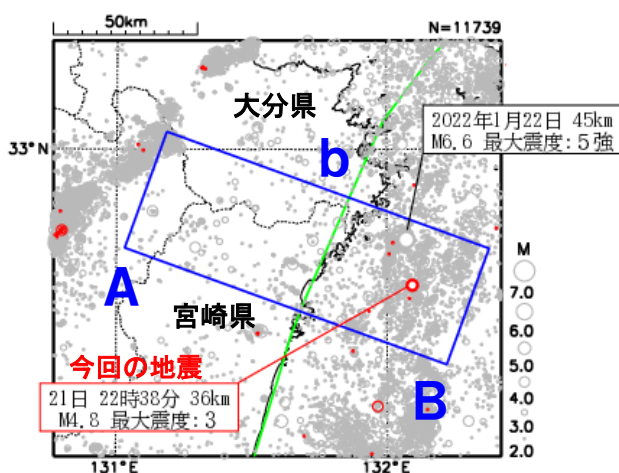


図 7 震央分布図

(1994 年 10 月 1 日～2026 年 9 月 30 日、

深さ 0～100km $M \geq 2.0$)

※2026 年 9 月の地震を赤色で表示

緑色の線は南海トラフ地震の想定震源域を示す

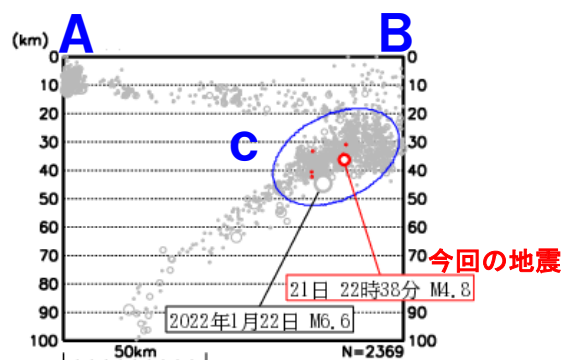


図 8 図 7 の領域 b 内の断面図（A-B 投影）

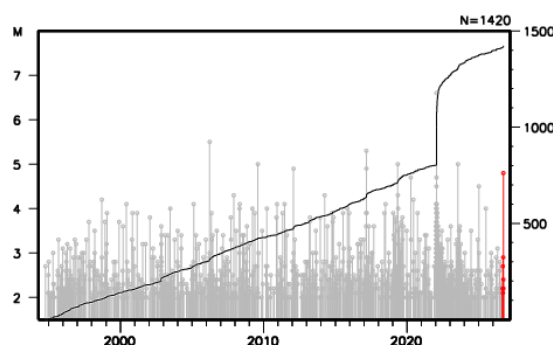


図 9 図 8 の領域 c 内の地震活動経過図
及び回数積算図

「令和 8 年熊本地震」

26 日 10 時 31 分に熊本県熊本地方で M4.6 の地震（深さ 8km）が発生し、熊本県の熊本市、嘉島町、益城町、西原村で震度 4 を観測したほか、九州地方で震度 3～1 を観測しました。

佐賀県では、佐賀市、小城市、神埼市、嬉野市など県南部で震度 1 を観測しました（図 10、表 1）。

9 月は、地震活動域付近（図 11 領域 d）で震度 1 以上を観測した地震が 79 回発生しました。このうち佐賀県で震度 1 を観測した地震が 1 回発生しました（図 11、12）。

「令和 8 年熊本地震」の地震活動は、地震の発生数は平常時と比べて多い状態が継続していますが、大局的には緩やかに減少しています。

なお、「令和 8 年熊本地震」に関しては、以下のホームページもご覧ください。

- ・気象庁（令和 8 年熊本地震の地震活動の関連情報）

https://www.jma.go.jp/jma/menu/20260728_kumamoto_jishin.html

- ・地震調査研究推進本部（令和 8 年熊本地震の評価）

https://www.mext.go.jp/a_menu/kaihatu/jishin/mext_00273.html

- ・総務省消防庁（災害情報一覧）

<https://www.fdma.go.jp/disaster/info/>

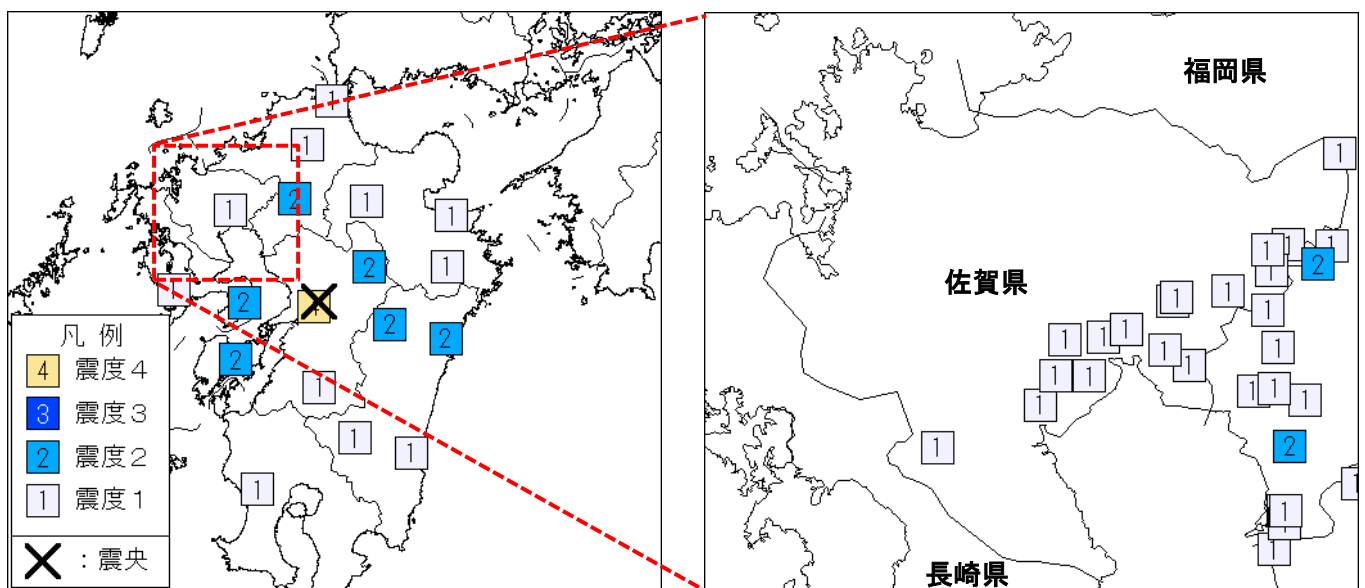


図 10 震度分布図（左図は地域別、右図は観測点別）

26 日 10 時 31 分 M4.6

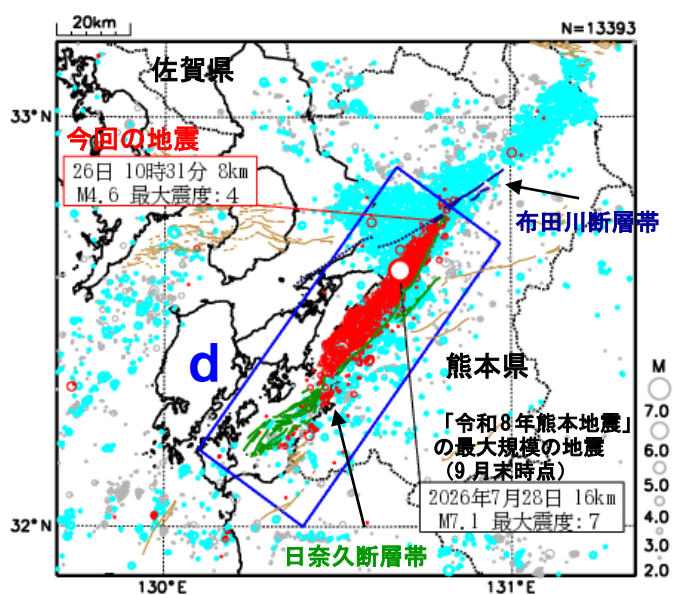


図 11 震央分布図

(2000 年 10 月 1 日～2026 年 9 月 30 日、
深さ 0～20km $M \geq 2.0$)

※2016 年 4 月 13 日以前に発生した地震を灰色で表示
2016 年 4 月 14 日以降に発生した地震を水色で表示
2026 年 7 月 28 日以降に発生した地震を赤色で表示
※図中の濃紺、緑、茶色の線は地震調査研究推進本部の
長期評価による活断層を示す

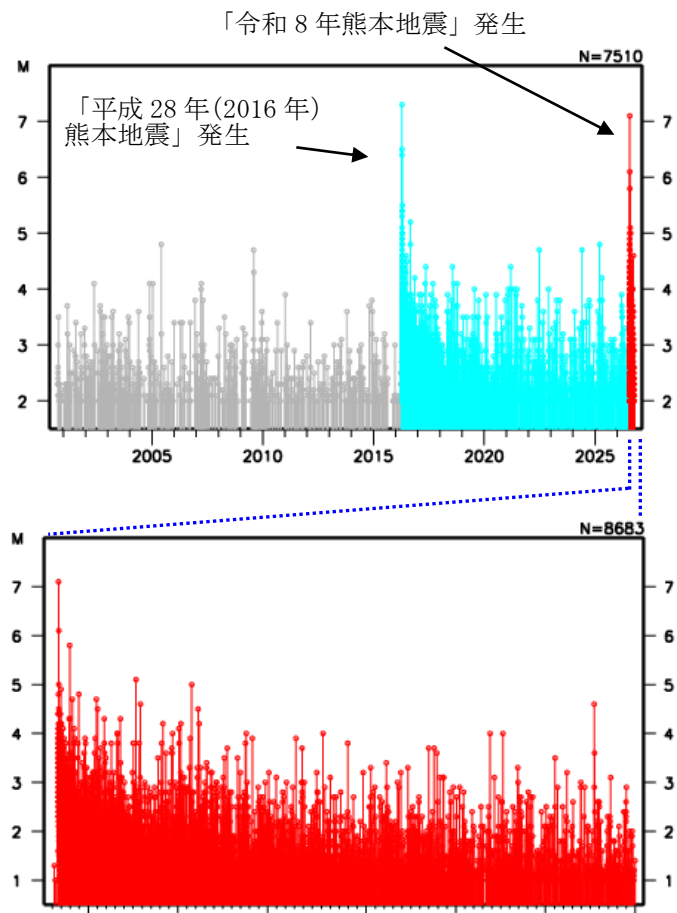


図 12 図 11 の領域 d 内の地震活動経過図

上段 : 2000 年 10 月 1 日～2026 年 9 月 30 日 $M \geq 2.0$

下段 : 2026 年 7 月 28 日～2026 年 9 月 30 日 $M \geq 1.0$

本資料は速報値です。「令和 8 年熊本地震」の中で発生した地震の回数については、後日の調査で変更になる可能性があります。

表 1 佐賀県内の震度観測点で震度 1 以上を観測した地震 (2026 年 9 月 1 日～30 日)

地震発生日時刻	震央地名	北緯	東経	深さ	規模
09 月 19 日 21 時 07 分 佐賀県	天草灘	32° 20.4' N	129° 44.0' E	15km	M4.5
震度 1 :	唐津市北波多*, 唐津市肥前*, 佐賀市駅前中央, 佐賀市東与賀*, 佐賀市久保田*, 佐賀市川副*, 武雄市武雄町昭和*, 上峰町坊所*, 江北町山口*, 白石町福田*, 白石町福富*, 白石町有明*, みやき町三根*, みやき町北茂安*, 神埼市千代田*				
09 月 21 日 22 時 38 分 佐賀県	日向灘	32° 34.4' N	132° 05.6' E	36km	M4.8
震度 2 :	上峰町坊所*				
震度 1 :	佐賀市川副*, 白石町福田*, 白石町福富*, 白石町有明*, みやき町三根*, みやき町北茂安*, 小城市芦刈*, 神埼市千代田*				
09 月 26 日 10 時 31 分 佐賀県	熊本県熊本地方	32° 44.6' N	130° 47.8' E	8km	M4.6
震度 1 :	佐賀市駅前中央, 佐賀市栄町*, 佐賀市東与賀*, 佐賀市久保田*, 佐賀市川副*, 基山町宮浦*, 上峰町坊所*, 江北町山口*, 白石町福田*, 白石町福富*, 白石町有明*, みやき町三根*, みやき町北茂安*, 小城市芦刈*, 嬉野市下宿乙*, 神埼市千代田*				

- ・「*」の付いた地点は、佐賀県または国立研究開発法人防災科学技術研究所の観測点です。
- ・地震の震源要素（緯度・経度・深さ・M）は暫定値であり、データは後日変更することがあります。
- ・震源が複数ある地震については、近接した地域でほぼ同じ時刻に発生した地震であるため、震度の分離ができず、規模の大きい地震を代表として扱います。

11 月 5 日は緊急地震速報の訓練に参加しましょう！

地震による揺れから身を守ることが、地震・津波防災の第一歩です。

気象庁では、11 月 5 日（木）に緊急地震速報の全国的な訓練を実施します。

緊急地震速報は見聞きしてから強い揺れに襲われるまでの時間のごくわずかであり、その短い間に、慌てずに身を守るなどの防災対応をとるためには日頃からの訓練が重要です。この機会に身を守る行動を体験してみましょう。

また、普段から、家具の固定など地震への備えをすすめ、津波避難場所なども確認しておきましょう！

➤ 訓練実施日時

令和 8 年 11 月 5 日（木） 10 時 00 分頃

国の機関や地方公共団体（全国瞬時警報システム「J アラート」経由）、民間の緊急地震速報を提供する配信事業者のうち、訓練への参加を計画している機関や団体に対して、訓練用の緊急地震速報を配信します。

※ 訓練用の緊急地震速報は、テレビ・ラジオの放送や、携帯電話・スマートフォンの緊急速報メール（エリアメール）には流れません。（一部のコミュニティ FM 等を除く）

➤ 訓練への参加方法

- ◇ お住まいの自治体の防災行政無線や商業施設などで緊急地震速報が放送される場合があります。自治体からのお知らせ、気象庁のホームページ等でご確認ください。
- ◇ 気象庁ホームページで公開している訓練用動画や、スマートフォンの訓練用アプリを使ってみましょう。
- ◇ 緊急地震速報を受信する端末をお持ちの方は、訓練用の緊急地震速報や受信端末に備わる訓練機能を利用してみましょう。

緊急地震速報を聞いたら、どうすればいいの？

緊急地震速報を見聞きしたときの行動は、まわりの人に声をかけながら
「周囲の状況に応じて、あわてずに、まず身の安全を確保する」ことが基本です。



頭を守って、安全な場所に避難！



危ない場所から離れて！



お店では、あわてず
係員の指示に従って！

詳しくは気象庁ホームページをご覧ください。

緊急地震速報 訓練

<https://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/jishin/cew/kunren/2026/kunren.html>

